



森と海の自然科「森と海の自然科・第31回山歩きを楽しむ会」

高御位山までの播磨アルプス縦走の記録

日 時 2026年2月17日(火) **天 候** 風はあったが暖かく絶好のハイキング日和でした。
集 合 JR 駅 曾根駅 10時 鹿嶋神社登山口まで30分ほど歩く **参加者** 8名
行 程 曾根駅・・・鹿嶋神社・・・神社本殿横の登山口・・・展望台(休憩等)・・・百間岩登り・・・展望地(休憩・記念写真)・・・鷹ノ巣山手前(昼食)・・・鷹ノ巣山・・・馬の背分岐・・・桶居山分岐・・・長尾登山口分岐・・・高御位山・・・長尾登山口分岐・・・鹿島神宮大鳥居前(合流)～神姫バスでJR 曾根駅(解散)

行程距離 約9km(山頂まで行った道のりです。)

地 図 別紙参照

本日の担当者は 大石、李三、森でした

概 要 2018年の森海例会・高御位山ハイクでは山頂まで行けずに馬の背で下山しました。今回はコースを変えて登りましたが、参加者全員が完歩することはできませんでした。少々残念でしたが、怪我もなく無事に下山できてよかったです。標高300m程の山ですがアップダウンがある厳しい山でした。特に最初の百間岩登りは厳しく、また滑りやすいため慎重に登る必要がありました。そのため、登りあがるのに時間がかかり、山頂まで行けるか不安がありました。

今回のハイクは結果的に山頂まで完歩した参加者は5名、長尾登山口分岐で待機した参加者2名、腹痛のため馬の背から下山した参加者1名でした。



JR 曾根駅で待ち合わせ



前方に本回登る高御位山が



鹿嶋神社まで歩きます

鹿嶋神社は由来によると、聖武天皇勅願によって国分寺と国分寺の東院として大日寺4が建立された時、その鎮護の神として奉祀されたそうです。天正六年(1578年)羽柴秀吉が神吉城攻略の際、この辺り戦火を蒙り灰燼に帰したが、当神社の高き御神域により幸いにも御神殿は焼け残りました。ご御祭神は武口槌命(たけみかつちのみこと)・経津主命(ふつぬしのみこと)で「必勝祈願」勝利の神様です。また、境内には当神社の御本宮である境茨城県の鹿島神宮を遥拝する場所があります。神社の大鳥居は軽くて耐熱性に優れたチタン製で高さ26m・横35mあり、平成10年に建立



鹿島神宮への遥拝所



鹿嶋神社本殿



鹿嶋神社の大鳥居



登山口から少し進んだところ展望台があり、ここで服の調整をしました。見上げると急傾斜の百間岩が待ち構えています。

← 展望台で服の調整をする

これから登る百間岩の岩壁壁が見えます →





急傾斜の百間岩を登る

百間岩を登り切り切った所で全員の記念写真を撮りました。

休憩後、少し下り更に急坂の岩場を登りあがった所で昼食にしました。食後さらに進んでいくと三角点のある鷹ノ巣山に着きました。前方で休憩している人と出会いました。山頂から少し引き返した長尾登山口分岐から下山すると早いと教えていただきました。



記念写真1



記念写真2

小生は腹痛が起こったためこの地から馬の背コースで下山することにし、大石さんにグループ・リーダーを変わっていただきました。6名の方々とお別れして、急降下の馬の背コースを歩き鹿嶋神社で合流することとして下山した。そのため、その後の経過については不明ですが、山頂での写真等を下記に載せています。



高御位山の山頂は岩場です

鹿島神宮の大鳥居で山頂まで目指した7人の参加者と3時45分ごろに合流しました。

全員怪我もなく走破できたことに感謝・感謝です。一日4本しかない曾根駅から姫路駅までの最終便である神姫バス16時10分発に乗りJR曾根駅発16時29分の電車に乗り帰阪する。



山頂の記念写真には3名?



高御蔵位山山頂標識



本日の最終便バスに乗れました

鹿嶋神社 印 →

